



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月31日

上場会社名 味の素株式会社

(コード番号：2802 東 大)

(URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 山口 範雄
 問合せ先責任者 役職名 財務部長 氏名 大野 弘道

TEL：(03) 5250-8161

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 - 1. 法人税等の計上方法：見積実効税率を適用
 - 2. 貸倒引当金の計上方法：一部簡便法を適用
- ② 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 有
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 - 連結（新規）4社（除外）4社 持分法（新規）－（除外）1社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	836,827	45,280	47,371	29,550
17年3月期第3四半期	819,458	57,474	60,311	38,514
(参考) 17年3月期	1,073,010	70,916	72,199	44,817

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	45.62	—
17年3月期第3四半期	59.41	—
(参考) 17年3月期	68.79	—

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	970,478	514,324	53.0	793.77
17年3月期第3四半期	906,652	460,834	50.8	710.91
(参考) 17年3月期	903,542	467,297	51.7	720.64

3. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 97社 持分法適用非連結子会社数 4社 持分法適用関連会社数 13社

4. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	1,100,000	61,000	36,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 55円23銭

※ 経営成績等の定性的情報については、2及び3ページの第3四半期連結業績の概要をご参照ください。

1. 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報

当第3四半期まで（平成17年4月1日～平成17年12月31日）の売上高は、前年同期を173億円上回り、8,368億円（前年同期比102.1%）となりました。利益面では、飼料用リジンの販売価格下落、国内外における主要製品の原料価格上昇等の影響を受け、営業利益、経常利益および四半期純利益は、それぞれ452億円（前年同期比78.8%）、473億円（前年同期比78.5%）、295億円（前年同期比76.7%）となりました。

なお、平成18年3月期の通期業績予想に関しては、平成17年11月11日に発表した業績予想に変更はありません。

〈国内食品事業〉

国内食品事業の売上高は、前年同期を73億円上回る4,731億円（前年同期比101.6%）、営業利益は、前年同期を25億円上回る261億円（前年同期比111.0%）となりました。

個人消費に明るさが見えてきてはいますが、食品業界におきましては、依然厳しい状況が続いております。こうした中で主要製品の需要喚起のための施策を実施し、販売の拡大に努めました。

家庭用調味料・加工食品につきましては、「和・洋・中のだし」製品群において、生鮮素材と連動した店頭販促型のキャンペーンを実施しました。「ほんだし」の売上は前年同期をやや下回りましたが、「コンソメ」および「丸鶏使用がらスープ」が好調に推移したことにより、「和・洋・中のだし」製品群全体としては、前年同期並みの売上げを確保しました。スープ類は、「クノール カップスープ」等が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。マヨネーズ類は、「ピュアセレクト サラリア」が好調に推移しました。

業務用調味料・加工食品につきましては、洋風ソースが大幅な減少となったものの、マヨネーズ類が大手需要家での納入拡大により前年同期の売上げを大きく上回りました。蛋白質改質酵素製剤「アクティバ」は大幅に売上げを伸ばし、食品加工業向け天然系調味料は堅調に推移しました。

家庭用・外食市場向けの低カロリー甘味料につきましては、「パルスweet」、「パルスweet」カロリーゼロが好調に推移し、売上げが前年同期を上回りました。アミノ酸サプリメント「アミノバイタル」は、アテネオリンピックに連動した施策により好調だった前年同期に比べて減収となりました。

冷凍食品につきましては、家庭用は広告に連動した販促活動の強化により、主力品である「ギョーザ」、「やわらか若鶏から揚げ」および「エビピラフ」が好調に推移し、売上げが順調に伸長しました。業務用は、焼売、餃子、デザート等の重点領域拡売と新製品導入により、前年同期を上回る売上げとなりました。

油脂につきましては、一昨年7月の㈱J-オイルミルズによる味の素製油㈱、㈱ホーネンコーポレーション、吉原製油㈱等の吸収合併を契機に、当社は、㈱J-オイルミルズの家庭用製品の発売元となり、業務用は、味の素ブランド製品を含む油脂製品およびミール類につき、一部を除き、㈱J-オイルミルズが販売することとなりました。このため、当社の家庭用の売上げは増加し、業務用の売上げは減少しました。家庭用ではキャノーラ油の売上げが好調に推移しました。

コーヒー類につきましては、「ブレンドィ」ボトルコーヒー等の液体コーヒーが引き続き大きく売上げを伸ばし、インスタントコーヒー、レギュラーコーヒーも、順調に売上げを伸ばし、増収となりました。

飲料につきましては、健康機能性飲料が大きく前年同期を下回りましたが、「カルピス」およびギフトが好調に推移し、前年同期並みの売上げとなりました。

チルド乳製品につきましては、チルド飲料が前年同期を下回りましたが、「プチダノン」、「ベビーダノン」が好調に推移し、前年同期並みの売上げとなりました。

〈海外食品事業〉

海外食品事業の売上高は、前年同期を131億円上回る713億円（前年同期比122.5%）となりましたが、営業利益は、主要製品の原料高騰によるコストの上昇により、前年同期を9千万円下回る26億円（前年同期比96.6%）となりました。

調味料につきましては、家庭用・外食市場向けのうま味調味料「味の素」はインドネシア、ベトナム、ブラジル、ペルーでの販売が好調で、タイ、西アフリカ諸国などでも堅調に推移しました。家庭用風味調味料は、タイの「RosDee」、フィリピンの「AJINOMOTO GINISA」などが好調に推移し、全体でも引き続き売上げを伸ばしました。

加工食品につきましては、アジアにおける即席麺は売上げを伸ばし、缶コーヒー「Birdy」は前年同期をわずかに上回りました。

〈アミノ酸事業〉

アミノ酸事業の売上高は、前年同期を39億円下回る1,873億円（前年同期比97.9%）、営業利益は、前年同期を140億円下回る112億円（前年同期比44.5%）となりました。化成品および甘味料が好調に推移したものの、飼料用アミノ酸でリジンの価格下落の影響が大きく、売上げが前年同期を下回り、大幅な減益となりました。

加工用うま味調味料につきましては、食品加工業向け「味の素」は、国内、海外ともに需要が順調に推移し、売上げが前年同期を上回りました。核酸につきましては、海外の大手需要家向けを中心に順調に推移し、前年同期を上回りました。

飼料用アミノ酸につきましては、スレオニンは、大きく売上げを伸ばしましたが、リジンは、中国メーカーの供給急増による販売価格の下落の影響を受け、いずれの地域においても売上げが前年同期を大幅に下回りました。トリプトファンは、前年同期並みとなりました。

医薬用・食品用アミノ酸につきましては、日本では、医薬用アミノ酸が輸液類の市場縮小により減収となり、食品用アミノ酸も飲料向けの需要の大幅な減少により、売上げが前年同期を大きく下回りました。欧州および米州では、輸液類等の医薬用アミノ酸が順調に推移しました。

甘味料につきましては、大手需要家向けの販売が好調に推移し、売上げが順調に伸長しました。

医薬中間体につきましては、大手顧客向けの出荷時期等の影響を受け、売上げが前年同期を下回りました。

化成品につきましては、化粧品原料の売上げは、国内、海外ともに好調に推移したことにより前年同期を上回りました。アミノ酸化化粧品「ジーノ」およびコンピュータ用の層間絶縁フィルムは、いずれも前年同期を大幅に上回りました。

〈医薬事業〉

医薬事業の売上高は、前年同期を16億円上回る601億円（前年同期比102.8%）、営業利益は、前年同期を9億円上回る89億円（前年同期比111.7%）となりました。自社販売製品の売上げが前年同期を下回りましたが、生活習慣病薬を中心とする販売委託品の貢献等があった結果、売上げおよび営業利益はともに前年同期を上回りました。

自社販売製品は、「ツインパル」をはじめとする昨年度発売の新製品が売上げに貢献しましたが、肝疾患用分岐鎖アミノ酸製剤「リーバクト」や輸液類等の既存製品の苦戦により、前年同期を下回りました。販売委託品は、カルシウム拮抗降圧剤「アテレック」が大きく売上げを伸ばし、糖尿病治療薬「ファスティック」は原末ナテグリニドの海外向け販売が好調に推移したことが、売上げに貢献しました。骨粗鬆症治療薬「アクトネル」は、販売委託先を変更したことにより、順調に売上げを伸ばしました。

〈その他〉

その他の事業の売上高は、前年同期を7億円下回る448億円（前年同期比98.3%）、営業利益は、3億円下回る24億円（前年同期比88.3%）となりました。

2. 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、主にギフト品等の季節要因による売掛金の増加、設備投資の増加および円安による在外子会社の貸借対照表の円貨への換算額が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ669億円増加し、9,704億円となりました。株主資本につきましては、前連結会計年度末に比べ470億円増加し、5,143億円となりました。この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の51.7%から53.0%となりました。

（注）業績予想の利用に関する注記事項

記載した予測数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があります。

四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)		平成18年3月期 第3四半期 (平成17年12月31日現在)		増減	平成17年3月期 第3四半期 (平成16年12月31日現在)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)
資産の部							
I 流動資産	414,415	45.9	440,288	45.4	25,872	406,134	44.8
現金及び預金	93,929		64,828		△29,101	63,048	
受取手形及び売掛金	188,010		216,740		28,730	207,705	
有価証券	1,285		7,075		5,790	6,301	
たな卸資産	97,459		108,659		11,200	96,840	
繰延税金資産	10,313		10,391		78	9,392	
その他	24,212		34,127		9,914	23,708	
貸倒引当金	△795		△1,534		△738	△863	
II 固定資産	489,126	54.1	530,190	54.6	41,063	500,518	55.2
1. 有形固定資産	302,458	33.5	329,283	33.9	26,824	306,768	33.8
建物及び構築物	252,206		266,568		14,362	246,543	
機械装置及び運搬具	425,227		444,968		19,740	421,856	
その他	48,656		51,024		2,367	47,572	
減価償却累計額	△500,050		△531,158		△31,108	△499,552	
土地	57,861		58,966		1,105	62,492	
建設仮勘定	18,557		38,913		20,356	27,856	
2. 無形固定資産	45,421	5.0	42,396	4.4	△3,024	45,524	5.0
連結調整勘定	27,152		24,089		△3,062	28,221	
その他	18,268		18,306		37	17,302	
3. 投資その他の資産	141,246	15.6	158,511	16.3	17,264	148,225	16.4
投資有価証券	119,661		144,374		24,713	122,697	
長期貸付金	247		200		△47	286	
繰延税金資産	13,042		6,485		△6,557	16,516	
その他	10,721		9,743		△977	11,130	
貸倒引当金	△2,426		△2,293		133	△2,405	
資産合計	903,542	100.0	970,478	100.0	66,936	906,652	100.0

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)		平成18年3月期 第3四半期 (平成17年12月31日現在)		増減	平成17年3月期 第3四半期 (平成16年12月31日現在)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)
負債の部							
I 流動負債	230,810	25.6	244,558	25.2	13,747	243,025	26.8
支払手形及び買掛金	109,140		127,944		18,803	117,398	
短期借入金	24,305		29,689		5,383	35,238	
商業用紙	—		15,000		15,000	—	
1年以内返済予定長期借入金	764		434		△329	1,278	
1年以内償還予定社債	10,000		—		△10,000	10,000	
未払法人税等	16,584		8,905		△7,679	16,528	
賞与引当金	3,406		1,773		△1,633	1,663	
その他	66,608		60,811		△5,796	60,917	
II 固定負債	180,726	20.0	181,362	18.7	636	178,981	19.8
社債	85,000		85,000		—	85,000	
長期借入金	5,533		8,439		2,905	5,431	
繰延税金負債	2,252		4,803		2,550	1,040	
退職給付引当金	63,275		59,271		△4,003	64,958	
役員退職慰労引当金	1,860		1,474		△385	1,767	
その他	22,804		22,373		△431	20,784	
負債合計	411,537	45.6	425,921	43.9	14,384	422,006	46.6
少数株主持分							
少数株主持分	24,707	2.7	30,233	3.1	5,526	23,812	2.6
資本の部							
I 資本金	79,863	8.8	79,863	8.2	—	79,863	8.8
II 資本剰余金	111,579	12.3	111,579	11.5	0	111,579	12.3
III 利益剰余金	315,981	35.0	336,175	34.7	20,193	309,671	34.1
IV その他有価証券評価差額金	9,239	1.0	21,863	2.3	12,623	11,045	1.2
V 為替換算調整勘定	△47,116	△5.2	△32,702	△3.4	14,413	△49,183	△5.4
VI 自己株式	△2,250	△0.2	△2,454	△0.3	△204	△2,142	△0.2
資本合計	467,297	51.7	514,324	53.0	47,026	460,834	50.8
負債、少数株主持分及び 資本合計	903,542	100.0	970,478	100.0	66,936	906,652	100.0

四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

区 分	平成17年3月期 第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		平成18年3月期 第3四半期 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日		増減	平成17年3月期 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)		金額	百分比 (%)
I 売上高	819,458	100.0	836,827	100.0	17,369	1,073,010	100.0
II 売上原価	585,391	71.4	605,438	72.3	20,046	760,554	70.9
売上総利益	234,066	28.6	231,389	27.7	△2,676	312,455	29.1
III 販売費及び一般管理費	176,591	21.6	186,108	22.3	9,517	241,538	22.5
営業利益	57,474	7.0	45,280	5.4	△12,193	70,916	6.6
IV 営業外収益	8,848	1.1	9,576	1.2	727	9,975	0.9
受取利息	1,340		913		△427	1,873	
受取配当金	440		735		295	664	
持分法による投資利益	3,482		3,960		477	3,263	
その他	3,585		3,967		381	4,174	
V 営業外費用	6,011	0.7	7,485	0.9	1,474	8,692	0.8
支払利息	2,235		2,444		208	3,020	
その他	3,775		5,041		1,265	5,672	
経常利益	60,311	7.4	47,371	5.7	△12,940	72,199	6.7
VI 特別利益	9,108	1.1	6,499	0.7	△2,608	24,694	2.3
固定資産売却益	771		4,229		3,458	12,183	
投資有価証券売却益	3,150		1,506		△1,644	6,860	
関係会社株式売却益	4,342		-		△4,342	4,341	
その他	844		763		△81	1,308	
VII 特別損失	5,574	0.7	4,307	0.5	△1,267	15,155	1.4
固定資産除却損	1,395		1,886		490	2,604	
和解金	2,021		-		△2,021	2,048	
その他	2,157		2,420		263	10,502	
税金等調整前四半期(当期)純利益	63,845	7.8	49,563	5.9	△14,282	81,737	7.6
法人税等	23,200	2.8	17,620	2.1	△5,579	34,340	3.2
少数株主利益	2,130	0.3	2,392	0.3	261	2,580	0.2
四半期(当期)純利益	38,514	4.7	29,550	3.5	△8,964	44,817	4.2

(最近連結会計年度からの会計処理方法の変更)

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、中間連結会計期間より、期中平均相場による円貨換算に変更しております。

この変更は、当社グループの生産、販売のいずれの面におきましても在外子会社等の重要性が増してきていることに加え、今後四半期財務情報の開示が進展していく中、決算期毎に直物為替相場に著しい変動が生じた場合でも、期間の損益をより適切に反映するために行ったものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して売上高は8,287百万円、売上総利益は2,437百万円、営業利益は378百万円、経常利益は416百万円、税金等調整前四半期(当期)純利益は408百万円、四半期(当期)純利益は183百万円それぞれ減少しております。

なお、各セグメントに与える影響は、「セグメント情報」に記載しております。

(後発事象に関する注記事項)

当社は、平成18年1月12日、ダノン・グループが所有するアモイ・フード・グループの株式、親会社融資債権及び知的財産権を、約1,845百万香港ドル(約273億円)にて取得しました。これにより、当社は、アモイ・フード・グループが香港、北米、欧州などで展開する中国醤油事業、冷凍食品事業ならびに、中国醤油を中心とする中華系液体調味料及び点心冷凍食品のカテゴリーで認知が高い「Amoy(淘大)」ブランドとともに、アモイ・フード・グループを通じて上海アモイ・フーズ・グループの出資持分6割を取得し、中国主要都市における中国醤油事業も取得いたしました。

アモイ・フード・グループの事業規模は、2004年12月期で売上高が約100億円、営業利益が約13億円であります。

また、本件により平成18年3月期の業績に与える重要な影響は無い見込みです。

事業の種類別セグメント情報

平成17年3月期第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）

（百万円未満切捨て）

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	465,061	118,102	132,230	58,487	45,575	819,458	—	819,458
(2)セグメント間の内部売上高	1,793	9,669	14,120	78	40,713	66,375	(66,375)	—
計	466,855	127,771	146,351	58,566	86,288	885,833	(66,375)	819,458
営業費用	441,929	123,460	123,222	50,551	83,468	822,632	(60,648)	761,983
営業利益	24,926	4,311	23,129	8,014	2,819	63,201	(5,726)	57,474

（注）1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスweet」、弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、国内飲料、チルド乳製品 等
海外食品	「味の素」類、核酸類、海外風味調味料、海外即席麺、海外飲料 等
アミノ酸	各種アミノ酸、飼料用アミノ酸、アスパルテーム、化成品 等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

平成18年3月期第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（百万円未満切捨て）

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	473,185	71,367	187,337	60,117	44,819	836,827	—	836,827
(2)セグメント間の内部売上高	2,085	1,332	17,527	79	41,397	62,423	(62,423)	—
計	475,270	72,700	204,865	60,197	86,217	899,250	(62,423)	836,827
営業費用	449,142	70,007	193,605	51,245	83,728	847,729	(56,181)	791,547
営業利益	26,127	2,692	11,259	8,951	2,489	51,521	(6,241)	45,280

(注) 1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスイート」、弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、チルド乳製品類 等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料 等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、医薬中間体、アスパルテーム、化成品 等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

3. 各事業区分に属する製品の変更

当連結会計年度において、当社は当社グループの新たな中長期経営計画に向けて、カンパニー制の再編を行いました。これに伴い、当社グループの事業内容の実態をより適切に表示するために各事業区分に属する製品を見直し、以下のとおり変更しました。

- ・「国内食品」に含めていた親会社輸出食品を「海外食品」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた冷凍食品事業の一部を「国内食品」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた加工用うま味調味料、海外「アミノバイタル」を「アミノ酸」に変更。
- ・「海外食品」に含めていた海外法人のその他事業の一部を「アミノ酸」に変更。
- ・「全社」に含めていた健康事業の事業化プロジェクトを、健康事業として立ち上げ「国内食品」に変更。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を、当連結会計年度において用いた各事業区分に属する製品により区分したものは、当（注）書きの後に記載しております。

4. 会計処理方法の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、中間連結会計期間より、期中平均相場による円貨換算に変更しております。

この変更は、当社グループの生産、販売のいずれの面におきましても在外子会社等の重要性が増してきていることに加え、今後四半期財務情報の開示が進展していく中、決算期毎に直物為替相場に著しい変動が生じた場合でも、期間の損益をより適切に反映するために行ったものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高が「国内食品」で168百万円、「海外食品」で3,664百万円、「アミノ酸」で4,382百万円、「その他」で177百万円減少し、「消去又は全社」で105百万円増加しております。また、営業利益は「国内食品」で1百万円、「海外食品」で281百万円、「アミノ酸」で76百万円、「医薬」で0百万円、「その他」で18百万円減少し、「消去又は全社」で0百万円増加しております。

(各事業区分に属する製品の変更後)

平成17年3月期第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	465,836	58,254	191,304	58,487	45,575	819,458	—	819,458
(2)セグメント間の内部売上高	1,061	2,824	20,195	78	40,713	64,873	(64,873)	—
計	466,897	61,079	211,500	58,566	86,288	884,331	(64,873)	819,458
営業費用	443,349	58,291	186,177	50,551	83,468	821,838	(59,854)	761,983
営業利益	23,547	2,787	25,322	8,014	2,819	62,492	(5,018)	57,474

(注) 1. 事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、スープ類、マヨネーズ類、「パルスイート」、弁当・惣菜、ベーカリー製品、「アミノバイタル」、冷凍食品、油脂、コーヒー類、飲料、チルド乳製品類 等
海外食品	「味の素」、風味調味料、即席麺、飲料 等
アミノ酸	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料、飼料用アミノ酸、医薬用・食品用アミノ酸、医薬中間体、アスパルテーム、化成品 等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他